

注意事項

※歯科矯正器具との併用はお避けください。

※必要以上に強く噛みしめないでください。

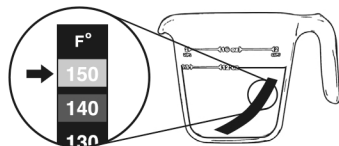
- ショックドクターマウスガードは歯・口内のケガを完全に防ぐものではありません。
- マウスガードが本来備えているプロテクト機能・フィット感・耐久性を保つために、使用説明書に示された正しい成形方法に従って成形してください。
- 着脱する際、フチをガムのように噛まないでください。本来備えているプロテクト機能・フィット感・耐久性を著しく低下させます。
- 使用後は水洗いし、清潔なマウスガードケースに入れ常温で保管してください。
- 歯を治療中の方は、成形・装着・着脱時に治療箇所を損傷する可能性がありますので、ゆっくりと注意しながら取扱ってください。
- 就寝時は誤飲の恐れがありますので、使用しないでください。
- 万一飲み込んだ際は、すぐに医師の指示をあおいでください。

<成形時に準備するもの>

- ・マウスガード本体
- ・深めの耐熱容器
- ・コップ
- ・箸またはスプーン
- ・鏡
- ・時計
- ・付属温度計
- ・熱湯(65°C位)
- ・水(冷水)

<成形方法> ※熱湯を使用します。成形時はマウスガード本体が熱くなるので、やけどには十分注意してください。

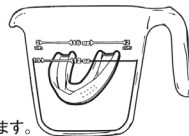
- ① 深めの耐熱容器に、深さ5cm以上の**熱湯(65°C程度)**を用意します。付属温度計を熱湯に完全に沈めると温度が確認できます。65°Cのとき温度計の目盛150(°F)の色が変わります。色が変わったことを確認し、温度計を箸またはスプーンで取り出しておきます。



【65°Cの熱湯の作り方:例】

深めの容器に水をコップ半分(100ml)程度入れ、付属温度計を沈めます。沸騰させた熱湯を少しずつ加え温度計の目盛の色を確認しながら温度を上げてください。

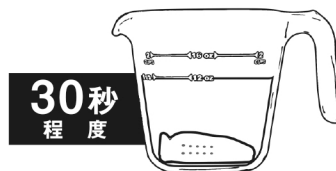
※熱湯が熱すぎる場合、付属温度計が色を示さないことがあります。その場合はマウスガードを浸さないでください。



温度計を取り出し、平らな面を下にしてマウスガードを沈めます。

- ② **平らな面を下にして**マウスガードを**30秒程度**熱湯に沈めます。緑が柔らかくなり曲がり始めたら、箸またはスプーンを使ってそっと取り出します。

※必ず温度計の色を確認し、決して65°C以上の熱湯にマウスガードを入れたり、熱湯に40秒以上入れたままにしないでください。小さく収縮して成形が出来なくなります。



表面より続き

③ マウスガードの縁が倒れ込んでいたらまっすぐに立ててください。

④ 鏡を見てマウスガード中央を正面に合わせ、
上の歯全体にはめ込みます。

(マウスガードが固まるまで時間があるのでゆっくりと行うのがポイント)

⑤ 歯形がしっかり残る程度に噛みしめてから、
直接指でマウスガードを歯に押し付けます。歯の裏側もしっかり押し付けます。

(歯1本1本にフィットさせるよう適度に押し付けるのがポイント)

※成形の際は必要以上に強く噛み締めないでください。歯がマウスガードを突き抜ける場合があります。



⑥ 口を閉じて強く吸い込み、
2分間外側から指で
唇のまわりを押し付けてください。



⑦ 水を口に含んでください。マウスガードの形を定着させます。

⑧ 水を吐き出したあと、マウスガードをゆっくりと取り出し**2分間**水に浸して冷やします。

⑨ 冷やした後、マウスガードを装着しフィッティング、口を開けても落ちないかを確認してください。ぴったりと合わない場合は、①からやり直しが可能です。

成形ガイドムービーは
こちらからご覧ください

